

中間報告書

(南箕輪村第5次総合計画後期基本計画案の
審議のための前期基本計画の検証)

南箕輪村むらづくり委員会

令和2年4月



令和2年4月17日

南箕輪村むらづくり委員会
会長 宮原 袈裟夫



南箕輪村第5次総合計画に係る中間報告について

令和元年6月17日付け元地第88号で諮問されました「南箕輪村第5次総合計画後期基本計画（以下「後期基本計画」という。）」について、以下のとおり中間報告いたします。

1. 検討の経緯と結果

令和元年12月3日から3回にわたりむらづくり委員会を開催し、「南箕輪村第5次総合計画」の検討を実施いたしました。

検討にあたっては、現むらづくり委員の任期が令和2年5月9日までとなっているため、主として住民アンケートの実施・検証、南箕輪村第5次総合計画前期基本計画の検証を実施し、次期むらづくり委員会で検討する後期基本計画案の資料としていただくこととしました。

その検討結果は、別添資料のとおりです。

南箕輪村第5次総合計画前期基本計画の検証結果

基本目標	施策・数値目標項目に対する検証判断結果（28項目）		基本目標に対する検証判断結果
1 健やかに生きいき暮らせる村 【5項目】	順調	2項目	おおむね順調
	おおむね順調	2項目	
	やや努力を要する	1項目	
	努力・改善が必要	0項目	
2 次代の担い手を育み、一人ひとりが輝く村 【6項目】	順調	3項目	おおむね順調
	おおむね順調	2項目	
	やや努力を要する	1項目	
	努力・改善が必要	0項目	
3 安全・安心に暮らせる村 【3項目】	順調	0項目	やや努力を要する
	おおむね順調	1項目	
	やや努力を要する	2項目	
	努力・改善が必要	0項目	
4 産業と観光の振興で活気を生む村 【3項目】	順調	0項目	おおむね順調
	おおむね順調	3項目	
	やや努力を要する	0項目	
	努力・改善が必要	0項目	
5 住みやすい環境づくりを進める村 【4項目】	順調	1項目	おおむね順調
	おおむね順調	0項目	
	やや努力を要する	3項目	
	努力・改善が必要	0項目	

基本目標	施策・数値目標項目に対する検証判断結果（28 項目）		基本目標に対する検証判断結果
6 自然と共生する魅力あふれる村 【3項目】	順調	1 項目	おおむね順調
	おおむね順調	1 項目	
	やや努力を要する	1 項目	
	努力・改善が必要	0 項目	
7 協働と満足度の高い行政経営を進める村 【4項目】	順調	0 項目	やや努力を要する
	おおむね順調	1 項目	
	やや努力を要する	3 項目	
	努力・改善が必要	0 項目	

施策・数値目標項目に対する検証判断結果 28 項目のうち、「やや努力を要する」とした施策項目は以下のとおりです。

基本目標	施策項目名
1 健やかに生きいき暮らせる村	1-4 障がい者福祉の充実
2 次代の担い手を育み、一人ひとりが輝く村	2-6 文化・芸術活動の推進
3 安全・安心に暮らせる村	3-2 交通安全対策・防犯体制の充実
	3-3 消費者対策の充実
5 住みやすい環境づくりを進める村	5-1 道路・交通網の充実
	5-2 住宅・公園・緑地の整備
	5-3 水循環・水環境の整備
6 自然と共生する魅力あふれる村	6-2 自然環境の保全・活用
7 協働と満足度の高い行政経営を進める村	7-1 参画・協働の推進
	7-2 地域コミュニティの育成
	7-3 人権尊重・男女共同参画の推進

なお、以下のとおり委員会の意見を付しますので、後期基本計画の策定にあたり次期むらづくり委員会への引継ぎ事項とします。

付帯意見

共通

国が推進するSDGs（持続可能な開発目標）を意識した計画とするよう努められたい。

基本目標1 健やかに生きいき暮らせる村

【施策1-4 障がい者福祉の充実】

障がい者が今まで以上に地域で生活できるようにするためには、さらなる施設や体制の整備が必要である。限られた資源の中で充実させるためには、これまで以上に行政と民間が連携した施策に取り組むことが求められる。

基本目標3 安全・安心に暮らせる村

【施策3-2 交通安全対策・防犯体制の充実】

防犯体制の充実のため、防犯カメラの増設について検討されたい。

基本目標4 産業と観光の振興で活気を生む村

【施策4-3 観光の振興】

村創生総合戦略に経ヶ岳や権兵衛峠を「南箕輪村の魅力開発とブランドづくり」に位置付けているので、上位計画である第5次総合計画にも施策の項目として位置づけ、積極的に取り組むよう努められたい。

基本目標5 住みやすい環境づくりを進める村

【施策5-1 道路・交通網の充実】

村の巡回バスである「まっくんバス」の利用の向上には、他の交通施策（移送サービスやスクールバスなど）も含め、これまでの方針等にこだわらず新しい発想で検討するよう努められたい。

【施策5-2 住宅・公園・緑地の整備】

住民アンケートでは公園に対する需要は高いものの、既存の児童公園の利用度は高いとは言えない。利用度を高めるような工夫を検討されたい。

第5次総合計画後期基本計画策定に伴う村民アンケート結果

村民アンケートを令和元年7月に実施しました。結果の概要は次のとおりです。

1 村民アンケートの回収率

調査対象	今回（R1）		前回（H26）	
	配布数	有効回収率	配布数	有効回収率
① 18歳以上の村民	1,250人 （無作為抽出）	40.8% （51回収）	1,400人 （無作為抽出）	41.2% （57回収）
② 10年以内に村内に転入された村民	750人 （無作為抽出）	34.9% （26回収）	745人（※） （無作為抽出）	30.1%（※） （22回収）
③ 高校生世代	全数（460人）	39.6% （18回収）	全数（500人）	34.6% （17回収）
④ 小学生（4～6年生）・中学生	全数（996人）	92.5% （92回収）	全数（868人）	100.0% （86回収）

※前回（H26）「②10年以内に村内に転入された村民」は、H27「総合戦略村民アンケート結果」

2 むらへの愛着度・満足度と定住意向

（1）むらへの愛着度・満足度について

調査対象	項目	今回（R1） （%）	前回（H26） （%）	比較（%） （R1-H26）
18歳以上の村民	愛着を感じている	79.1	78.8	0.3(↗)
	愛着を感じていない	6.5	5.8	0.7(↗)
10年以内に村内に転入された村民	満足している	78.6	—	—
	満足していない	5.0	—	—
高校生世代	愛着を感じている	85.2	85.0	0.2(↗)
	愛着を感じていない	2.7	4.7	2.0(↘)
小・中学生	好きだ	84.9	80.3	4.6(↗)
	好きでない	2.1	2.0	0.1(↗)

（2）今後の定住意向について

調査対象	項目	今回（R1） （%）	前回（H26） （%）	比較（%） （R1-H26）
18歳以上の村民	住み続けたい	85.7	88.2	2.5(↘)
	住みたくない	2.4	1.7	0.7(↗)
10年以内に村内に転入された村民	住み続けたい	78.2	—	—
	住みたくない	3.1	—	—
高校生世代	住み続けたい	56.6	52.6	4.0(↗)
	住みたくない	10.4	8.7	1.7(↗)
小・中学生	住み続けたい	52.7	50.8	1.9(↗)
	住みたくない	12.3	8.3	4.0(↗)

3 むらの現状と今後の取組みについて（18 歳以上の村民）

（１）むらの各環境に関する満足度

	今回（R1）		前回（H26）	
	項目	ポイント	項目	ポイント
上位3位	自然が豊かで潤いがある	6.15	自然が豊かで潤いがある	5.79
	田園風景など景観がよい	4.67	田園風景など景観がよい	4.53
	下水道（合併処理浄化槽）の整備	3.75	下水道（合併処理浄化槽）の整備	4.41
下位3位	公共交通機関の利便性	-2.69	買い物の便利さ（衣料品・電化製品等）	-2.96
	買い物の便利さ（衣料品・電化製品等）	-2.46	公共交通機関の利便性	-2.84
	国際交流が盛んである	-1.71	働く場の確保	-1.90

（２）むらの各環境に関する重要度

	今回（R1）		前回（H26）	
	項目	ポイント	項目	ポイント
上位3位	子どもにとって安全・安心なむらづくり	5.86	子どもにとっての安全・安心なむらづくり	5.88
	交通事故防止対策の充実	5.70	交通事故防止対策の充実	5.78
	買い物の便利さ（食品・日用品等）	5.58	防犯対策	5.69
下位3位	国際交流が盛んである	1.30	国際交流が盛んである	1.64
	地域活動への住民参加の機会の充実	1.88	地域活動への住民参加の機会の充実	1.99
	ボランティア活動が活発である	1.88	ボランティア活動が活発である	2.22

(3) 満足度と重要度の相関（優先度）

優先順位	項目	前回（H26） 順位
1	公共交通機関の利便性	5
2	交通事故防止対策の充実	1
3	防犯対策	2
4	買い物の便利さ（食品・日用品等）	7
5	働く場の確保	4
6	子どもの遊び場や居場所がある	3
7	高齢者のための施設が整っている	6
8	高齢者の働く場等生きがい対策の充実	10
9	土地利用が適切に行われている	15
10	子どもにとっての安全・安心なむらづくり	14

3 10年後のあるべき姿・むらにしてほしいこと（3つまで回答）

（1）10年後のむらのあるべき姿（3つまで回答）

南箕輪村の将来像（あるべき姿）については、第1位が「高齢者や障がい者が健康で暮らしやすい福祉の充実した村」47.6%、第2位が「子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせる村」46.7%、第3位が「医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせる村」38.0%の順となっています。これは、前回（H26）のアンケート結果と大きく変わっていません。

18歳以上の村民（以下「一般村民」という。）、10年以内に村内に転入された村民（以下「転入者」という。）、高校生世代で比較したときの特色として、一般村民では医療・福祉関係の項目が1位、3位、5位と上位にあがっています。転入者では子どもに関する項目が1位と5位の上位に、高校生世代では、観光・レクリエーションや文化・スポーツに関する項目が3位、5位で上位にあがっています。

上位 5位	18歳以上の村民		10年以内に村内に転入された 村民		高校生世代	
	項目	%	項目	%	項目	%
1位	高齢者や障がい者が健康で暮らしやすい福祉の充実した村	47.6	子育て支援が充実し、子供が楽しく、充実した子ども時代を過ごせる村	63.4	子育て支援が充実し、子供が楽しく、充実した子ども時代を過ごせる村	44.5
2位	子育て支援が充実し、子供が楽しく、充実した子ども時代を過ごせる村	46.7	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせる村	34.7	観光・レクリエーション施設や祭り・イベントの充実した村	30.2
3位	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせる村	38.0	高齢者や障がい者が健康で暮らしやすい福祉の充実した村	24.4	自然環境や歴史的資源を生かした個性ある村	26.9
4位	自然環境や歴史的資源を生かした個性ある村	27.8	自然環境や歴史的資源を生かした個性ある村	19.5	趣味の文化活動やスポーツが盛んな村	26.4
5位	福祉施設や医療施設が整備された村	22.2	大学や高校などと連携した学校教育が充実した村	16.8	高齢者や障がい者が健康で暮らしやすい福祉の充実した村	26.4

（2）むらにしてほしいこと（3つまで回答）（小中学生）

上位5位	項目	%（前回%・順位）
1位	自然を守ってほしい	57.7（57.3・1位）
2位	公園などの遊び場をつくってほしい	29.6（29.6・2位）
3位	人と人とが助け合っていくようにしてほしい	24.4（24.8・3位）
4位	村外から人がたくさん観光に来るようにしてほしい	22.7（21.9・5位）
5位	買い物をしやすくしてほしい	21.9（22.8・4位）

4 むらの住みやすさと地域の活性化に向けた取組みについて（18歳以上の村民）

（1）少子化の要因について（2つまで回答）

上位3位	項目	%
1位	自分の所得や雇用に不安があり、結婚や子育てまで考える余裕がないから	53.9
2位	子どもを産み育てるために、お金がかかると思っているから	50.4
3位	自分の自由な時間を優先したいと思っている人が多いから	30.6

（2）少子化の対策について（2つまで回答）

順位	項目	%
1位	出産や子育てにかかる費用負担の軽減	43.9
2位	所得の向上や雇用の安定に向けた支援	38.8
3位	結婚や出会いなどへの支援	30.4
4位	将来、年金等老後の不安を解消する取組み	30.4
5位	出産や子育てに関するサポート支援の充実	24.1
6位	子育てしやすい環境につながる、地域のネットワークづくりの支援	13.1

（3）結婚支援について（2つまで回答）

上位3位	項目	%
1位	経済的に安定した雇用環境の創出	53.9
2位	夫婦が共に働き続けることができる職場環境の充実	50.4
3位	結婚につながる出会いの場の創出	30.6

（4）妊娠・出産に関する取組みについて（2つまで回答）

上位3位	項目	%
1位	妊娠・出産に対する経済的支援の充実	49.0
2位	産婦人科・助産院の充実	32.4
3位	育児に関する学習・相談の場の充実	24.7

（5）保育サービスの充実について（2つまで回答）

上位3位	項目	%
1位	長時間・一時的保育等の特別保育の充実	40.4
2位	3歳児未満児保育の受入れの拡充	37.6
3位	保育料等の見直しによる経済的負担の軽減	33.5

(6) 子育て支援に関する取組みについて（2つまで回答）

上位3位	項目	%
1位	子育てと仕事を両立するための支援の充実	42.4
2位	子育てに関する助成の充実	29.8
3位	大学や高校など奨学金に関する助成の充実	28.4

(7) 雇用の拡大への取組みについて（2つまで回答）

上位3位	項目	%
1位	企業に対する、育児休業や有給取得の向上など福利厚生面の充実のための啓発活動	45.3
2位	企業に対し、非正規労働者の処遇の改善等に向けた啓発活動	39.4
3位	就職情報や就職相談所の充実	30.6

(8) 地域経済の安定化・活性化（産業振興）への取組みについて（2つまで回答）

上位3位	項目	%
1位	村の自然・景観など地域資源を活かした観光産業の振興	34.1
2位	村の基幹産業である製造業をはじめとした工業の振興	32.5
3位	6次産業化や南箕輪村ブランドなど新規産業の創出	28.2

(9) 老後の安心への取組みについて（2つまで回答）

上位3位	項目	%
1位	高齢者を支える施設への支援	56.3
2位	健康寿命を延ばすなど健康づくりへの支援	32.9
3位	バリアフリーなど住宅環境整備への支援	32.7

5 転入理由等について（10 年以内に村内に転入された村民）

（1）転入される前の居住地

上位3位	今回（R1）		前回（H26）	
	項目	%	項目	%
1位	上伊那地域	60.7	上伊那地域	56.8
2位	木曽郡を除く北・中信	7.6	東京・神奈川・埼玉・千葉	10.9
3位	東京・神奈川・埼玉・千葉	7.3	木曽郡を除く北・中信	8.6

（2）南箕輪村に転入してきた理由

上位3位	今回（R1）		前回（H26）	
	項目	%	項目	%
1位	南箕輪村に家を建てた、または良い物件があったから	42.4	南箕輪村に家を建てた、または良い物件があったから	33.2
2位	仕事や学校に通うのに便利だから	29.8	仕事や学校に通うのに便利だから	27.3
3位	親元・実家（の近く）へ戻りたかったから、戻らなければならなかったから	19.8	親元・実家（の近く）へ戻りたかったから、戻らなければならなかったから	14.1

SDGs（持続可能な開発目標）に関する資料

SDGs とは、2015 年 9 月の国連サミットで採択された、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17 の目標と 169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

次期計画においては、この目標を意識したものにさせていただくよう、お願いいたします。



17の目標一覧

目標1	貧困をなくそう	あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
目標2	飢餓をゼロに	飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する
目標3	すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
目標4	質の高い教育をみんなに	すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
目標5	ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る
目標6	安全な水とトイレを世界中に	すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する
目標7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
目標8	働きがいも経済成長も	すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する
目標9	産業と技術革新の基盤をつくろう	強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る
目標10	人や国の不平等をなくそう	国内および国家間の格差を是正する
目標11	住み続けられるまちづくりを	都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする
目標12	つくる責任 使う責任	持続可能な消費と生産のパターンを確保する
目標13	気候変動に具体的な対策を	気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
目標14	海の豊かさを知ろう	海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
目標15	陸の豊かさを守ろう	陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
目標16	平和と公正をすべての人に	持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
目標17	パートナーシップで目標を達成しよう	持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

令和元年度南箕輪村第5次総合計画に関するむらづくり委員会開催の経過

開催日		内容
第15回	令和元年12月3日	○村民アンケートについて ○第5次総合計画前期基本計画の達成状況について
第16回	令和2年1月28日	○第5次総合計画前期基本計画の検証について
第17回	令和2年2月19日	○第5次総合計画前期基本計画の検証について

むらづくり委員名簿

会 長	宮 原	袈裟夫	久保区推薦
副会長	千	菊 夫	南殿区推薦
委 員	小板橋	紀 光	中込区推薦
委 員	穂 高	正 俊	塩ノ井区推薦
委 員	福 澤	豪	北殿区推薦
委 員	松 澤	純 一	田畑区推薦
委 員	原	文 明	神子柴区推薦
委 員	山 田	茂	沢尻区推薦
委 員	梶 村	隆 志	南原区推薦
委 員	横 道	正 博	大芝区推薦
委 員	原	孝 壽	大泉区推薦
委 員	足 立	芳 夫	北原区推薦
委 員	春 日	啓 子	村長指名
委 員	唐 澤	顕 匡	村長指名
委 員	唐 澤	喜 廣	村長指名
委 員	小 林	幸 代	村長指名
委 員	関 口	なおみ	村長指名
委 員	内 藤	良 昭	村長指名
委 員	中 川	博 夫	村長指名
委 員	平 嶋	菜 美	村長指名
委 員	三 澤	澄 子	村長指名
委 員	小 松	恒 輝	公募
専門委員	上 野	謙 二	日本郵便南箕輪郵便局
専門委員	唐 木	敏 秀	上伊那農業協同組合南箕輪支所
専門委員	小山 敏彦 (平成 30 年 3 月 31 日まで)		アルプス中央信用金庫南箕輪支店
専門委員	伊藤 裕之 (平成 30 年 4 月 1 日から)		アルプス中央信用金庫南箕輪支店
専門委員	竹 内	智 彦	八十二銀行南箕輪支店
専門委員	小 松	和 雄	連合上伊那地域協議会
専門委員	伊 藤	秀 男	伊那ケーブルテレビジョン
専門委員	真 子	浩	不動産鑑定士

敬称略

